

6月までに御献金・御献品頂いた方々

市沢みどり様 田代清子様 田口大輔様 吉川仁子様
倉斗邦夫様 山田秀美様 阿佐部伸一様 熱海弘子様 井上美由紀様
聖パウロ修道院様 カトリック呼子教会様 カトリック伊万里教会様
東町わたや薬局様 富木力也様 三沢義男様 田上智博様 河合知義様
引地淑子様 山田健一郎様
一般社団法人ドムクス 岩松美八子様
有明メンタルクリニック 中島央様
西新共同法律事務所 八尋光秀様
医療福祉専門学校 緑生館様
武雄法律事務所 大和幸四郎様
前田和馬法律事務所 前田和馬様
はやて法律事務所 福島和代様
山口・佐藤法律事務所 山口修様
吉竹法律事務所 吉竹秀将様
団野法律事務所 団野克己様
国立病院機構肥前精神医療センター 坪兵文様 吉森智香子様 武藤岳夫様
カウンセリングスペースひなた猫 中島薫様

佐賀DARCにご支援頂きまして心から感謝致します

佐賀DARCより献金・献品ご協力をお願い

いつも佐賀DARCをご支援して下さい、ありがとうございます。
苦しんでいる依存症者に回復のチャンスと場を提供していくため、皆さまの
資金的な御支援を必要としております。
御支援・御協力を何卒よろしくお願い致します。

口座番号 01750-9-123470
加入者名 佐賀ダルクを支援する会

※原則として、郵便局で受け取る振込金受領書の写しを以て領収書に代えさせていただきます。
※発送作業簡略化のため、郵便振替用紙は全員の方に同封させて頂いております。
※入寮施設での食料(コメ・調味料・油・コーヒー・砂糖など)、日用品(洗剤・タオル・シャンプー・リンス・
石鹸など)の献品も引き続き募っておりますので何卒よろしくお願い致します。



849-0937



saga-darc@asahinet.jp



佐賀県佐賀市鍋島3-1-10
コーポ御伽館2F



<https://www.facebook.com/saga.darc>



0952-97-6766



<http://saga-darc.jp>

DARC

NPO法人 佐賀DARC



849-0937



佐賀県佐賀市鍋島3-1-10
コーポ御伽館2F



0952-97-6766



saga-darc@asahinet.jp



<https://www.facebook.com/saga.darc>



<http://saga-darc.jp>

No.36 **2018**

施設長からのあいさつ

日々があわただしく過ぎていくような気がするの、毎日が充実しているのでしょうか、佐賀DARCのメンバーも新しいメンバーが増え少し平均年齢もさがり活気づき元気な声が響いています。

退寮を、間近に控え仕事に通い続けている仲間や、就労支援事業所とDARCの併用で就労の為の訓練へと進みだした仲間、少し先行く仲間たちの存在は辿り着いたばかりの仲間たちの希望になっているようです。

夏の間は、佐賀DARCも例年多くの行事、自助グループの九州エリアギャザリングやコンベンションの参加で多くの仲間たちとの出会い、しらふで楽しむキャンプ、海へと、子供のように楽しむことをモットーにいろんな場所へと出かけました。

はじめて楽しめる仲間、嫌々参加している仲間、イベントの帰りに疲れながらも楽しかったという言葉が聞けるのは嬉しい限りです。

仲間の中に安心感を感じる場所、クリーンで生きていく事に希望を見いだせる場所を継続していけることを願っています。

フロリダで行われた、自助グループのWRCNA (ワールドコンベンション)にも職員2名が、参加してきました。

薬物依存症の世界中の仲間たちが2万人集まり、回復を分かち合う場所に参加できたことは有意義なものでした、佐賀DARCに繋がる多くの仲間を手渡していければと思っています。



佐賀DARC
松尾 周

利用者：一利

こんにちは、薬物依存症の一利です。
早いもので、自分が佐賀ダルクに来て1年8ヶ月が経ちました。

入寮した頃は、この先がどの様になってしまうか先が真っ暗でした。
今現在は、半年前からB型作業所に週4日通わせていただき、充実した毎日を送っています。

仕事内容はハンバーガー屋さんで一日5、6時間仕事をしていて、たまに10時間仕事する時もあります。

仕事を始めた頃は立ち仕事なので足がパンパンとなり、すごく疲れましたが今は仕事にも慣れて少しずつ自分で働けるようになり、ホール係から、厨房係の仕事までやれる所まで来ました。

サービス業の仕事は、以前に接客業等の仕事を経験していた事が有り自分に合っていると思ったので今の作業所を選びました。

今こうして接客業の仕事ができる事は、周囲の方々の支えがあって作業所に行けることを感謝しています。

今後は出来たら将来的にも、今の飲食業の仕事に携わっていきたいと思っています。



DARC

利用者：だいき

こんにちは。薬物依存のだいきです。

三か月前に佐賀ダルクに入所しました。
今は二回目の入寮で頑張っていますが、初めは新しい環境で慣れませんでした。
しかし前の施設に比べて入寮者も少なく部屋も二人部屋の為、慣れるのにはそんなに時間は掛かりませんでした。

今はプログラムにも慣れてきました。
今回の入寮は自分のタイミングで、退寮も考えているので気持ち的には楽に過ごせています。

佐賀に来て地元を離れた事もあり、新しい場所で自立も考えられるようになりました。
これから住む場所も変えていくし仕事なども、どういう仕事があるのか分からないですが大変だなという気持ちと楽しみという気持ちがありとても楽しみです。

前の施設で長崎のメンバーとは、一度だけ会ったこともあり佐賀にきてすぐのギャザリングで、会う機会がありました。そこでも、温かく迎えてもらいギャザリングも最初は嫌でしたが、なんだかんだ楽しくできました。

それからもキャンプに行ったり海などに行き夏は意外と充実した毎日でした。
今の時期はあまりイベント行事はありませんが、これから冬にかけてスノーボードや年末にかけてフォーラムなども有るので施設に居る間は楽しみながら仲間と共にやっていきたいと思います。

DARC

利用者：コン

皆さんこんにちは。私は佐賀ダルクのコンと申します。

年齢は60歳で出身は神奈川県横須賀市です。佐賀ダルクでは1番年上です。

なぜ佐賀ダルクに入寮したのかを少し話します。
私の実家は横須賀市内で工務店を営んでいました。27歳で同級生の妻と結婚し子供は2人います。

私が社長になった頃はバブルの時に金遣いも荒くなり毎日、酒を飲むようになり女も作ったりしてしまい挙句の果てに覚せい剤を覚えてはまってしまうました。
その結果、刑務所に3回も入ってしまいました。
それでこんな生活をしていてはダメだと感じ佐賀ダルクに行く事を決断した訳です。

ここでの生活は毎日ミーティングで大変ですが仲間と食事をしたり運動したり花見バーベキューと楽しく過ごし生活は安定しています。

以上ですありがとうございました。

D4NRC

利用者：ジロウ

～ 熊本のギャザリング ～

薬物依存症のじろうです。
今回、熊本に行って初めてのギャザリングでした。
二日目はくじ引きをして当たりを引き、スピーチをすることになりました。
急な事で面食いましたが、どうにか話すことができ、佐賀ダルクの面目が立ったかもしれません。
人前で話すのは苦手でしたが、良い経験になり良かったです。

九州から仲間が集まってミーティングをしまして、長崎ダルクの人が歌を歌ってくれてみんなノリノリでした。
夜だったので温泉に自分は行きゆっくりできました。

帰る日は、海に行き今年初めての海で泳ぎました。
サップに乗る事が出来ず、若い人たちには敵いませんでした。
二組に分かれてレースをしたのですが自分はサップに乗れないので寝そべって乗りました。
結果は勝って良かったです。

来年のギャザリングが楽しみです。
サップに乗れるように練習したいと思います。

利用者：ヒロ

依存症のヒロです。

今年の10月にダルクに入所しました。

私は18歳から大麻をはじめ、LSD、コカイン、危険ドラッグを使用し、最後には覚醒剤を使用し、自分ではどうにもならなくなり、両親に病院に連れていかれ三カ月入院しました。

その後、退院と同時に警察に逮捕され裁判の結果、懲役1年半執行猶予3年の言い渡しを受けその間両親が家族会に繋がり、その経緯で私は佐賀ダルクの方に来る事になりました。

D4NRC

私はダルクそのものが全く分からず多くの不安を抱えていましたが、ダルクの人達は優しく、共感できる事が多くもしかしたらこんな私でもこの中にいれば薬を辞めることができるかと思えるようになりました。

まだダルクにきて1カ月ですが、これから色々な不安とかあると思うけど仲間と一緒に頑張っていきたいと思います。

利用者：カルロス

初めまして、カルロスと申します。
あの、二十六年十二月に危険ドラッグで、時の人となり刑務所から措置入院となり今は、佐賀ダルクに入寮中です。

入寮二週間で、処方薬で、スリップして、その後は、スリップしないで、クリ～ン六ヶ月が経ちました。
今でも、使いたい時は、本当にどうしようもなく使いたいが、スタッフに止められたり、何だかんだダルクにいます。

またホ～ムショックに掛かったりと心理カウンセラ～に相談したりスタッフを説得して東京に帰るとか言いたいことも言えない事もあるが今でも佐賀にいますが、何時かはスタッフを説得して帰るか、ある日、突然帰ろうかとも考えています。

佐賀に来てからは、三ヶ月は、お客さんで、何もやらなくて良いと言われていましたが、いざ、三ヶ月経つとイキナリあれもやらなくてはいけない、此れもやらなくてはいけない

もう嫌でなれません。
あゝ何時東京に帰れるのかと考えるばかりです。
佐賀のプログラムは、行事が色々有り気も抜く所もあり楽では、無いです。
プログラム、受けたくないが、東京に帰るためには、プログラムを受けるしかないと思いい立ち嫌嫌ではあるが、プログラムを受けていますが、まだまだ、提案された事を受けいれ事や反発や腹の中で何考えてるか分からない事やちょっとした事で敏感になったり自分では、大丈夫と言っても大丈夫が一番危ないと言われてたりと言いたいこと言いやがってと思ったり、とかとか言えばキリがない。

まあ時が来るまで、佐賀でヤルしかないかとも考えてもいますので、他のダルクメンバ～の人も暖かく見守っておいてください。

ではでは、次回のニュー～スレタ～で

利用者：ベン

お久しぶりです。アディクトのベンです。
この度、3度目のニュースレターに登場です。

佐賀ダルクに入所して1年10か月が過ぎ、自分で思うに、ここまで順調に過ごす事が出来ていると思います。

1月に働き出して10か月、近々退寮して1人で生活を始めようと思います。

ダルクでの今迄に生活、プログラムを通して薬物抜きで楽しむ事もきちんとした生活リズムで過ごす事も出来る様になりました。

このままのリズムを崩す事なく退寮後も生活出来ればと思います。

地元を離れてダルクに入所した事も自分にとっては良かったと思います。
今後も地元に戻る事をせず、このまま佐賀に留まるようにしてクリーンな生活を続けて行きます。

今の自分にとって仲間から離れる事やダルクやクリニックから距離を置く事がとてもキケンであると思うので、ずっと繋がっていたいと思います。

ではこの辺で終わります。



佐賀ダルク ベン

利用者：けんた

こんにちは。薬物依存症のけんたです。

2年前の7月に佐賀ダルクを退寮し、社会生活を送っていましたが、今年の6月に再び戻ってきました。

僕は2年前、自分の問題の薬物への無力は認めていましたが、大麻や酒はコントロールして社会でやっていけると思い、心の中で無力を認めていませんでした。

退寮前に施設長やスタッフに助言されたことは今でもよく憶えています。仲間から遠ざかるな、最初はキツくても自助グループに参加する事、なるべく早くスポンサーを見つけること、大麻、酒、女に気をつけろと助言されました。

施設を出た開放感と「仕事が忙しいし、キツくなればミーティングに行けばいい」と自分の病気を甘く見ていたところもあり、助言をすべておろそかにして、つっ走りしました。孤独感がどこにいてもつきまとい、彼女ができたなら一気に病気は加速していきま

した。キツくなった時はもう手遅れで、わずか2年で薬を使っていた時と同じどん底に行きました。シラフはもちろん、自助グループなしでは生きていく事が無力だと思い知らされた2年間でした。

入寮して5ヶ月がたった今は、この2度目の底つきも生き方を変えていく過程で必要だったと思えます。失敗したからといって前の1年2ヶ月の入寮生活もムダだったとも思いません。

あの時はあの状態がベストでした。試さないといけない自分がいました。

あの時しか学べないこともいっぱいありました。

当時は「大好きな薬をやめるんだから、大麻や酒までやめたら生きていく楽しみがないし、社会を生き抜けない」と思っていたのですが、失敗して、逆にシラフじゃないと生き抜けないと思い知らされた今は、不思議と前向きです。

時間が経つのが早く感じて焦る自分もいますが、ゆっくりを心がけて入寮生活を送っていきたいと思います。

利用者：ロッキー

依存症のロッキーです~~~~~!!!

施設につながって、1年4ヶ月になります。

今は仲間と共に仲良く、毎日楽しく過ごしています。

特にキャンプやNAのイベント、海に行ったりしたのが、楽しい思い出になっています。施設では、ミーティングを中心とした生活ですが、自分は人前で話す事が苦手なので緊張してしまっています。

仲間との生活は楽しい事も有りますが、イライラする事や落ち込む事もあります。自分は施設の生活でルールを破ったり仲間と揉めたりしてきました、例えば、物の入寮者同士の売買や、携帯を持ってしまったり、メルカリなどの通販で買い物をしたり、お母さんに連絡をして荷物を送ったりしました。

仲間には、ジュースを奢ったり自分のやりたい事の為に巻き込んだりと昔と変わらない事をやっていました。

その度に反省はするけど、また同じ事を繰り返してしまいました。

なんで同じ事を繰り返してしまうのか自分でも分かりません。

このままの自分でも良いと思う時もあります。

このままの自分で居るのも嫌だと思う時もあります。

でもどうしたら良いのか分からないと言う気持ちを誰にも言えていません。

これからB型作業所で働く事になるのですが

ミーティングやNAで自分の正直な気持ちを言えるようにして行きたいと思っています。

以上



利用者：もとき

春夏秋冬 モトキ

今年の春は仲間と桜見をしながらバーベキューをした。綺麗な花を見ながらのバーベキューは最高だった。

夏、海水浴に仲間といった。みんな、暑い中、無邪気に青い海の中に飛び込んだ。黒い肌になって帰っていった。

秋、図書館に仲間と行って読書をしたりスポーツを楽しんだりしている。

また今年の冬ももうじき来る。どんな楽しみが待っているか楽しみだ。

毎年、春夏秋冬はくる。その度、楽しみが違うし思い出も変わってくる。またクリーンの長さも変わってくる。

自分の体を労わりながら回復していきたいと思っている。

